

残雪を踏みしめ春山を満喫

●森吉山山開き



▲残雪を踏みしめて森吉神社を目指す登山愛好者

夏山シーズンの幕開けを告げる森吉山の山開きが、5月3日に現地で行われました。

好天に恵まれたこの日は、県内外の登山愛好者など約150人が参加。旧森吉スキー場の駐車場を出発し、一ノ腰を経た森吉神社までの約4キロを、残雪を踏みしめ、日当りのよいところに顔をだすキクザキイチゲなどの山野草や木々の新緑を見ながら、思い思いのペースで登りました。

森吉神社に到着した参加者は、神事を執り行い、今年一年の安全を祈願しました。このあと、隣接する避難小屋で昼食をとりながら交流を深めたり、山頂を目指したり、山スキーをしたりしながら、春山を満喫していました。

身近な地域から環境美化を

●春のクリーンアップ運動



▲鎌や移植ペラを使いながら、公園内の草とりやごみ拾いを行う鷹巣地区の住民

春のクリーンアップ運動が、4月19日の早朝に市内各地区で行われました。秋田県では、4月を「あきた・クリーン強調月間」と定め、雪解け時期における身近な地域のクリーンアップを呼びかけています。

この日は、各地区とも午前6時から住民総出で道路沿いや河川、公園などのゴミ拾い、側溝の泥上げに汗を流しました。最近では、美化や環境保護への意識が高まり、捨てられているゴミの量は減少しているものの、幹線道路沿いや人目のつかない場所には空き缶などが落ちており、参加者は隅々まで目を配りながら、ゴミを集めていました。

なお、雪解けの遅い地区でも、一週間ほど遅れて実施しています。

創立50周年の節目を祝う

●北秋田地区更生保護女性の会



▲創立50周年を祝い、更なる飛躍を誓った記念式典

北秋田地区更生保護女性の会（嶺脇シズエ会長）の創立50周年記念式典が、4月30日に中央公民館で開かれ、会員及び関係者ら約120人が出席し、節目を祝いました。

同会は昭和40年に「北秋田地区更生保護婦人会」として発足し、平成15年に現在の名前に改称。北秋田市と上小阿仁村の159人の会員が、更生保護事業への協力など、犯罪のない明るい社会づくりに取り組んでいます。

式典で嶺脇会長は「安全で安心して暮らせる社会づくりのため、一層努力を重ねていく」と述べ、今後の活動への誓いを新たにしました。また、記念講演やヴァイオリンとピアノによる演奏が披露され、式典に花を添えました。

2頭の赤ちゃんグマがお出迎え

●熊牧場の今季営業始まる



▲ツキノワグマの赤ちゃんに触れて楽しむ子どもたち

阿仁熊牧場（愛称くまくま園）の今シーズンの営業が、4月25日に始まり、大勢の家族連れなどにぎわいました。

この日は、オープンを待ちわびた地元保育園児や小学生、家族連れなどが訪れ、運動場でくつろぐヒグマをガラス越しに観察したり、愛嬌のある表情で餌をおねだりするツキノワグマに餌を与えたりしながら楽しんでいました。また、今年2年振りにツキノワグマの雄と雌の双子の赤ちゃんが誕生。体長約40センチ、体重約2キロに育った愛くるしい姿のクマに触れながら「かわいい」などと歓声を上げていました。

同熊牧場では、ツキノワグマ41頭とヒグマ18頭が飼育され、11月上旬まで無休で営業します。

集会やパレードで事故防止を呼びかけ

●春の全国交通安全運動



▲集会で「ふるさと秋田交通安全音頭」を踊る市交通安全母の会の会員

春の全国交通安全運動が、5月11日から20日まで実施され、市内各所で総決起集会や交通安全パレード、街頭キャンペーンなどで、市民に交通事故防止を訴えました。

このうち、運動初日の11日に、市役所前で行われた北秋田地区交通安全協会鷹巣支部の総決起集会には、北秋田警察署をはじめ行政関係者、鷹巣地区交通安全管理者協会、交通安全母の会、交通指導隊などから約120人が参加。近藤直夫部長が「皆さんと一緒に頑張って、交通事故防止に努めていきたい」とあいさつしました。その後、パトカーとのほりを掲げた軽トラック合わせて10台がパレードを行って、沿道の市民に交通安全を呼びかけました。

満開の桜の下で親睦を深める

●鷹巣中央公園桜まつり



▲好天に恵まれ、多くの花見客でにぎわった「桜を観る会」

北秋田市観光物産協会（村井松悦会長）主催の鷹巣中央公園「第64回桜を観る会」が、4月26日に開かれ、満開の桜の下で大勢の来場者が歌謡ショーなどのイベントを楽しみました。

同公園は、桜の名所として知られ、園内にはソメイヨシノを中心に、シダレザクラ、ヤエザクラ、ヤマザクラなど約900本が咲き誇り、夜にはライトアップされた桜並木が堤に映え、幻想的な光景に包まれます。

例年は大型連休中に満開の時期を迎えますが、今年は桜前線の北上が早いことから、桜まつりは例年より1週間ほど早い4月18日に開幕し、30日までの期間中、大勢の花見客でにぎわいました。